



Library NEWS

～図書館だより～

令和6年度 晃陽中学校図書館

入学・進級おめでとうございます。新しい学年のスタートです。学校生活には慣れましたか？新しい友達はできましたか？人との出会いと同じく、本との出会いも大切にして、楽しい学校生活を送りましょう。

☆図書室の利用について☆

全学年、オリエンテーションを受けてからの貸出になります。利用するときのマナーや注意点、ワンランク上の図書の利用の仕方を覚え、楽しい読書をする1年にしましょう。

- 【貸出時間】
- 2時間目後の休み時間
- 昼休み
- 【貸出冊数】
- ひとり5冊まで
(夏休みは10冊)
- 【貸出期間】
- 1週間以内

*どなたでも本の予約やリクエストができます。
*みんなでマナーを守って気持ちよく利用しましょう。



巡回図書もスタートしました。

学校図書館には無い本を読みたい人は、ぜひ巡回図書を手にとってみてください。市立図書館へのリクエストもできます。



読書をしよう！

8:15 朝の読書
1日の準備をしてから、読書をしませう。

読書、直接体験できないことを体験したり、知識や教養をふやししたり、娯楽として楽しんだりして、生活をより豊かにしてくれるものです。日本では江戸時代に入るまでは読書ができるのは貴族や大名などの上流階級に限られていたそうです。(『ポプラティア』ポプラ社より)
朝の読書はもちろん、たくさん本を読みませう！



好きな本を読みませう。
(マンガは×)



読書を長く続けることにより、学力を向上させる効果も見込まれます。

朝の読書は心を落ち着かせ、集中力をアップさせることができるといわれています。



学校司書より



こんにちは。司書の合田です。図書館で本を楽しんでもらえるよう、たくさんの読書イベントを、図書学芸委員と企画していきます。よろしくお願ひします。





新学期

期待と不安が入り混じるこの季節にぴったりの本を紹介します。



『中学時代がハッピーになる30のこと』

中谷 彰宏：著 PHP 研究所



「遊んだ分だけ勉強しよう」「できなくてもいいからチャレンジしよう」「気付かれないいいことをしよう」「おいしそうに食べよう」など、30のやってみよう！がアドバイスとして出ています。中学校生活が始まったけれど、何をやっていけばいいかわからない人は、とりあえず1つでも書かれていることを実践してみませんか？きっとハッピーになれるでしょう。



『中学の勉強のトリセツ』

梁川由香：著 Gakken

勉強したいけど、どうすればいいのかやり方がわからなかったり、成績を上げたいけれど、いつもテストではいい点数が取れない、という人は、この「トリセツ」を一度読んでみませんか？自分では気付かなかった、教科にあった勉強法を見つけられるかもしれません。2、3年生も今からでも遅くはありません。

『魔女の宅急便』角野栄子：作

角川文庫

魔女は13歳になったらひとり立ちすることになっています。相棒の黒猫ジジと新しい街で生活を始めたキキは、何もかもが初めてで、不安な気持ちに負けそうになります。それでも宅急便屋さんとして街の人々に溶け込んでいこうと頑張るのでした。新しい生活が始まったみなさんにおすすめです。



『ヤワな大人にならない！生きかたルールブック』

齋藤孝：監修 日本図書センター

本が大好きで、本を通じて「生きかた」を身に付けた著者がまとめた、50のルールです。悩みや不安は誰にでもあるけれど、強くしなやかに生きてほしいと願い、今の若者にエールを送っています。



図書学芸委員会



1年生から3年生まで、計24名の委員が決定しました。毎日のカウンター当番や学級文庫の管理などのほか、さまざまなイベントを企画し、読書活動を活発にするために頑張っていきます。

第1回委員会の様子



委員長



3学年副委員長



2学年副委員長



1学年代表



2階と3階の階段の間にある図書学芸委員会掲示板や、図書室廊下のディスプレイなどに、図書委員がお知らせや、おすすめの本などを掲示しますので見てくださいね！

